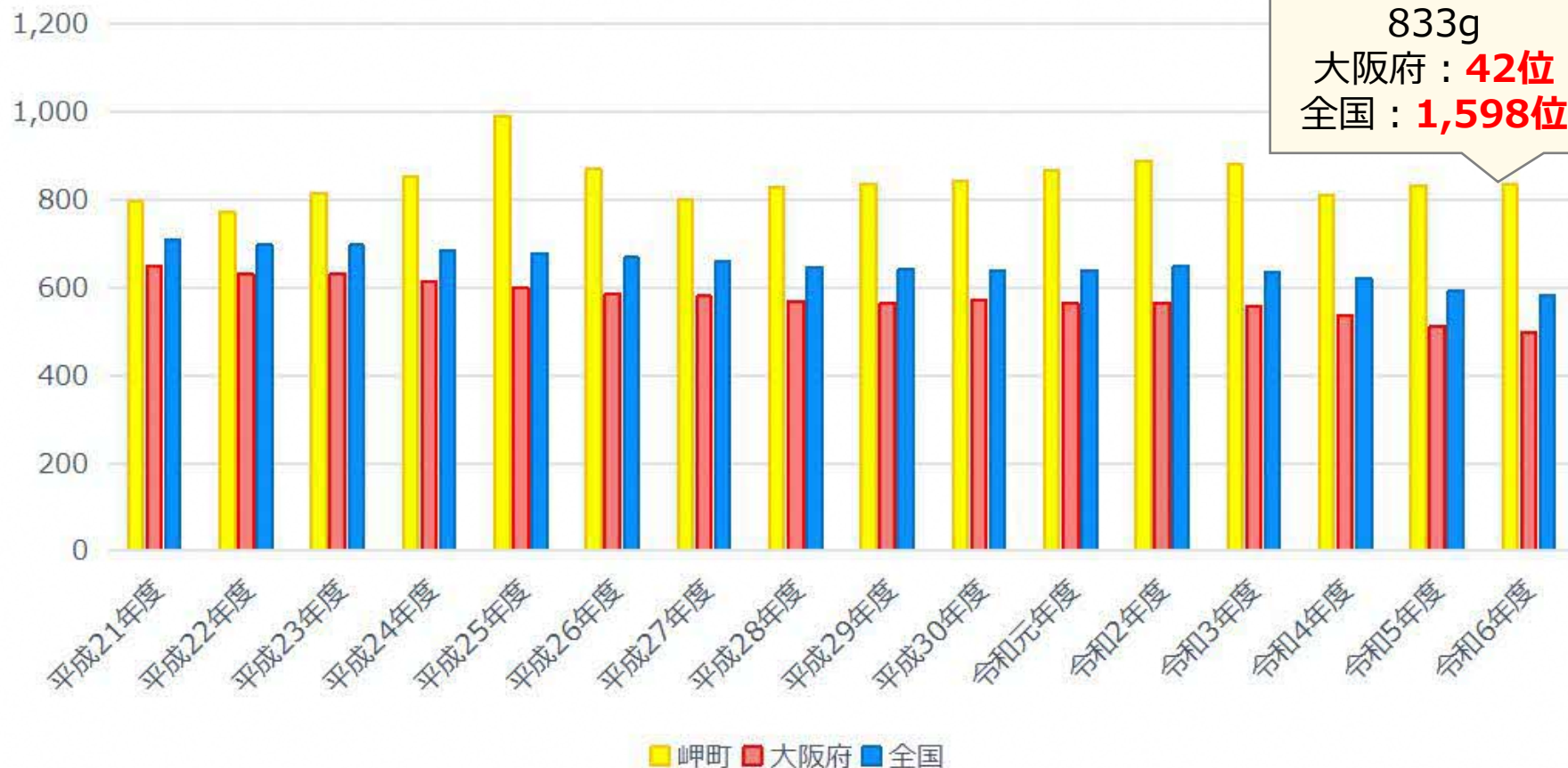


令和8年第3回定例会 一般質問参考資料

令和8年9月3日
谷地 泰平

1人1日当たりの生活系ごみ排出量[g/人日]

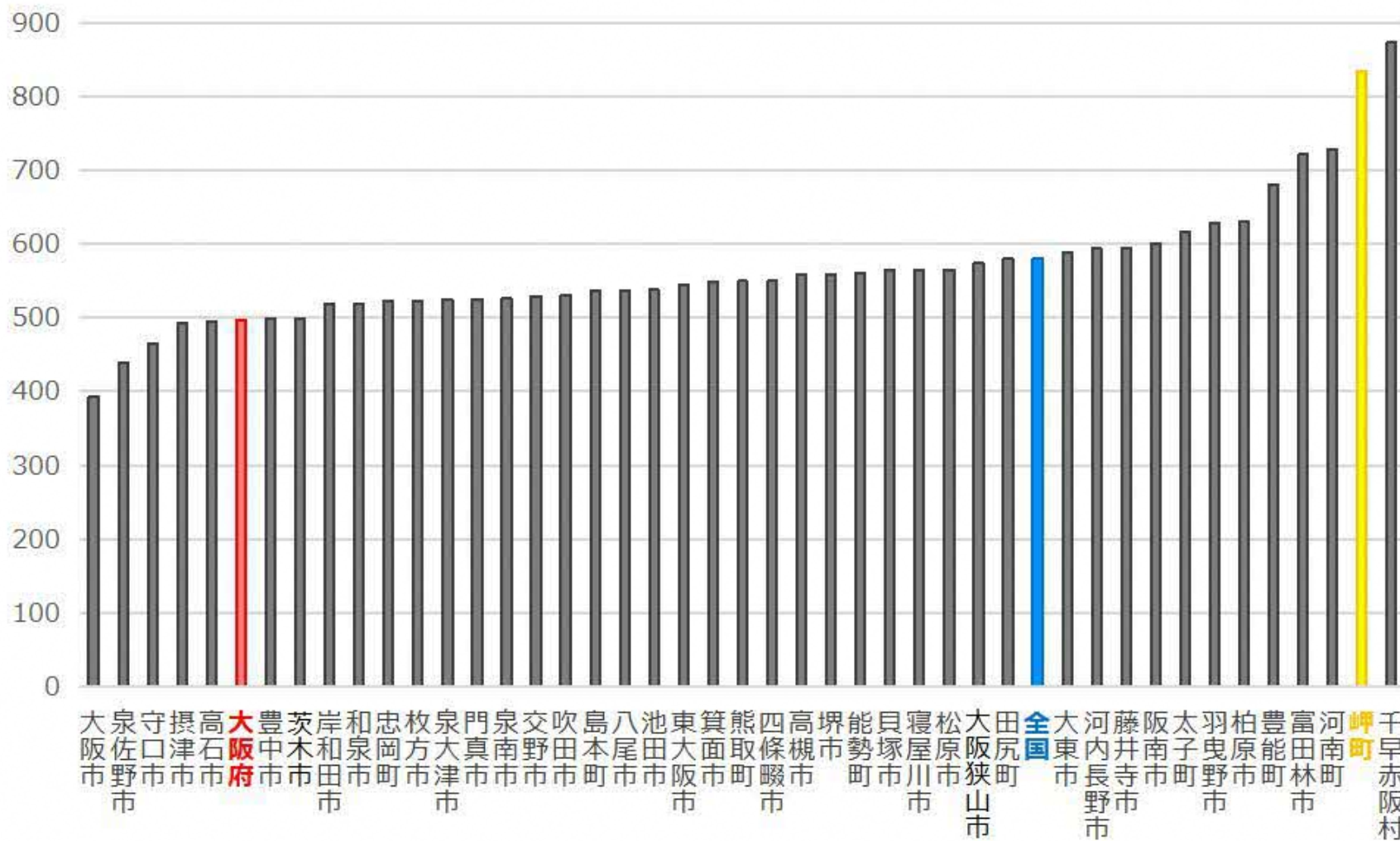


大阪府(43)、全国(1718※₁)でもかなり低い順位
全国平均、大阪府平均ともに減少傾向だが、
岬町は平成21年度から増減しつつ殆ど変わっていない

※「環境省 廃棄物処理技術情報：一般廃棄物処理実態調査結果」のデータを集計

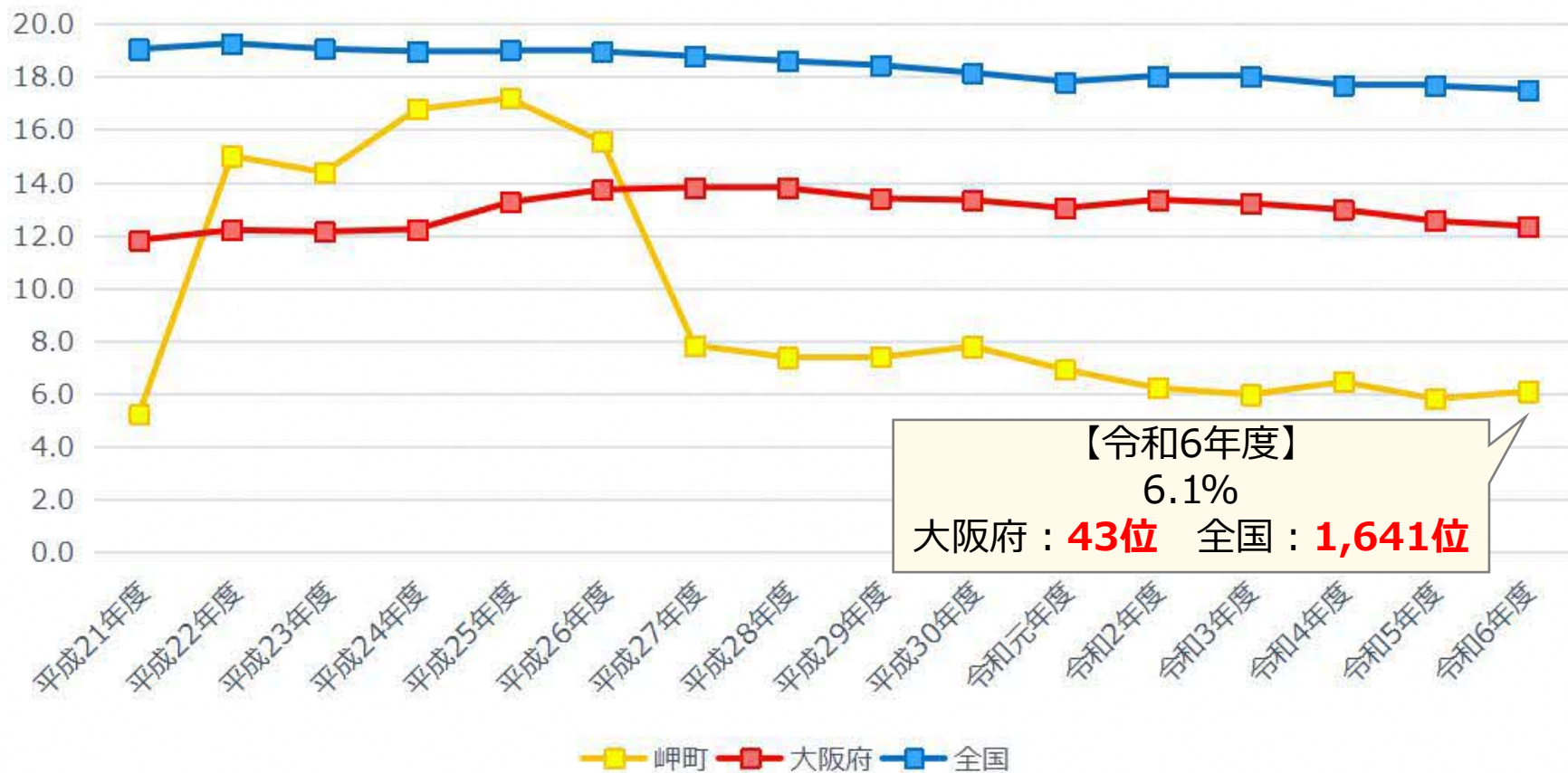
※1：データの関係上、東京23区を除く

1人1日当たりの生活系ごみ排出量(令和6年度)[g/人日]



※「環境省 廃棄物処理技術情報：一般廃棄物処理実態調査結果」のデータを集計

リサイクル率[%]

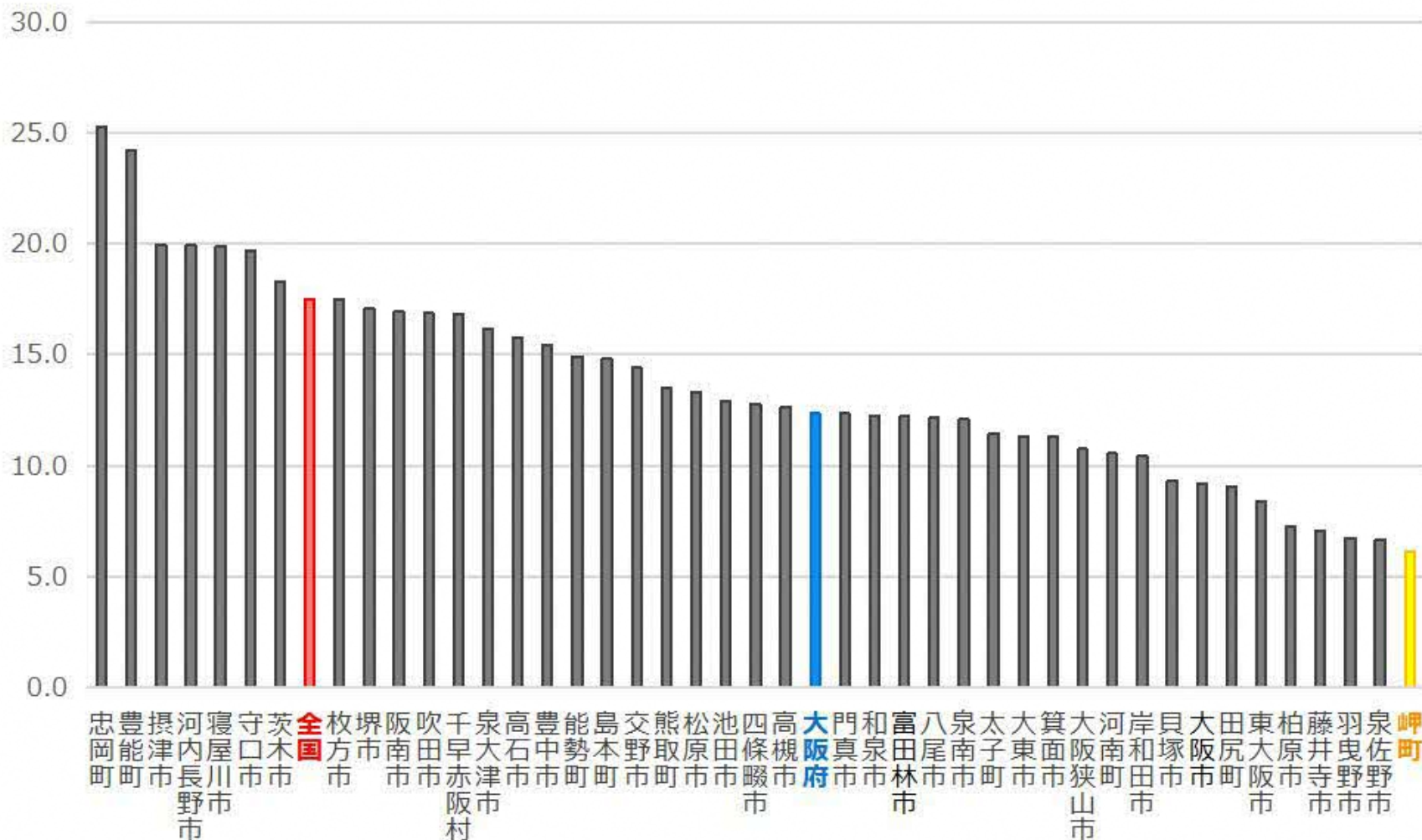


大阪府(43)、全国(1719※₁)でもかなり低い順位
令和元年度から6年連続大阪府最下位

※「環境省 廃棄物処理技術情報：一般廃棄物処理実態調査結果」のデータを集計

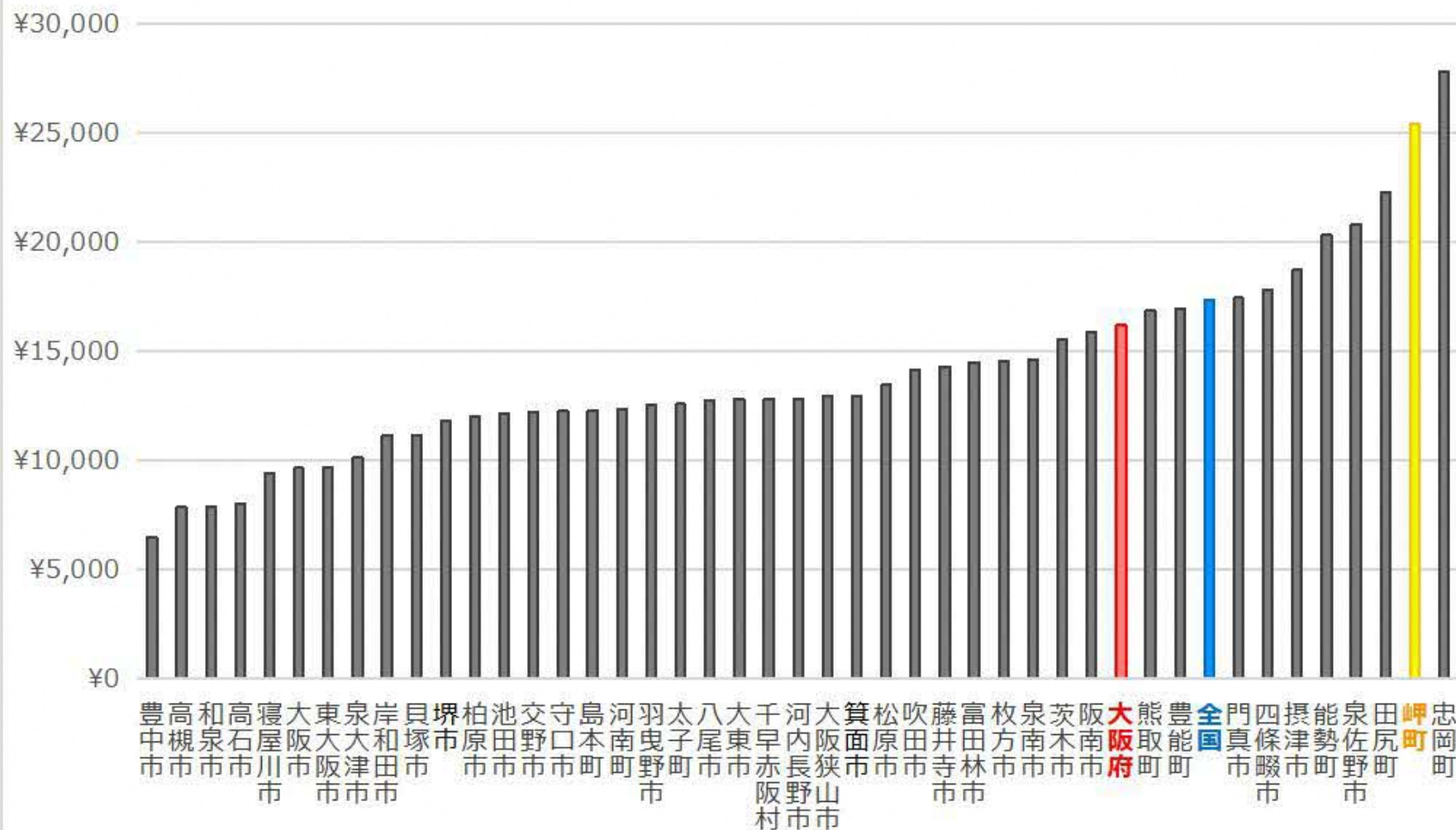
※1：データの関係上、東京23区を除く

リサイクル率(令和6年度)[%]



※「環境省 廃棄物処理技術情報：一般廃棄物処理実態調査結果」のデータを集計

1人当たりのごみ処理経費(令和6年度)[円/人年] ※建設改良費除く



※「環境省 廃棄物処理技術情報：一般廃棄物処理実態調査結果」のデータを集計

現在のごみ収集方法

資料6

淡輪地区/望海坂地区/深日地区(岬公園のみ)				多奈川地区/孝子地区/深日地区(岬公園を除く)				
月	可燃ごみ 	古着類 	紙類 	第1 蛍光灯・電球 	第2 金属類 	第3 せともの 	第4 ガラス類 	乾電池 
火	第1 蛍光灯・電球 	第2 金属類 	第3 せともの 	第4 ガラス類 	乾電池 	可燃ごみ 	古着類 	紙類 
水	第1・第3 アルミ缶 				第2・第4 ペットボトル 			
木	可燃ごみ 	古着類 	紙類 	プラスチック 				
金	プラスチック 				可燃ごみ 	古着類 	紙類 	

ごみ収集方法見直し案①：小型不燃ごみ収集変更

資料7

	淡輪地区/望海坂地区/深日地区(岬公園のみ)	多奈川地区/孝子地区/深日地区(岬公園を除く)
月	可燃ごみ 古着類 紙類	第1・第3 第2・第4
火	アルミ缶 スチール缶 ビン ペットボトル	可燃ごみ 古着類 紙類
水	収集なし	
木	可燃ごみ 金属類 せともの ガラス類	プラスチック ○古着類・紙類の回収を週1回 ○埋め立て処分する小型不燃ごみを週1回同時回収
金	プラスチック	可燃ごみ 金属類 せともの ガラス類

蛍光灯・電球



乾電池



役場などの公共施設で拠点回収

ごみ収集方法見直し案②:空缶・空きビン分別回収

資料8

淡輪地区/望海坂地区/深日地区(岬公園のみ)				多奈川地区/孝子地区/深日地区(岬公園を除く)				
月	可燃ごみ 	古着類 	紙類 	第1・第3 アルミ缶 	第2・第4 ペットボトル 			
火		第1・第3 アルミ缶 	第2・第4 ペットボトル 	可燃ごみ 	古着類 	紙類 		
水	収集なし							
木	可燃ごみ 	第1 第3 スチール缶 	ビン 	第2・第4 金属類 	せともの 	ガラス類 	プラスチック 	○古着類・紙類の回収を週1回 ○埋め立て処分する小型不燃ごみを週1回同時回収
金		プラスチック 		第1 第3 スチール缶 	ビン 	第2・第4 金属類 	せともの 	ガラス類 

○古着類・紙類の回収を週1回
○埋め立て処分する小型不燃ごみを週1回同時回収

蛍光灯・電球



乾電池

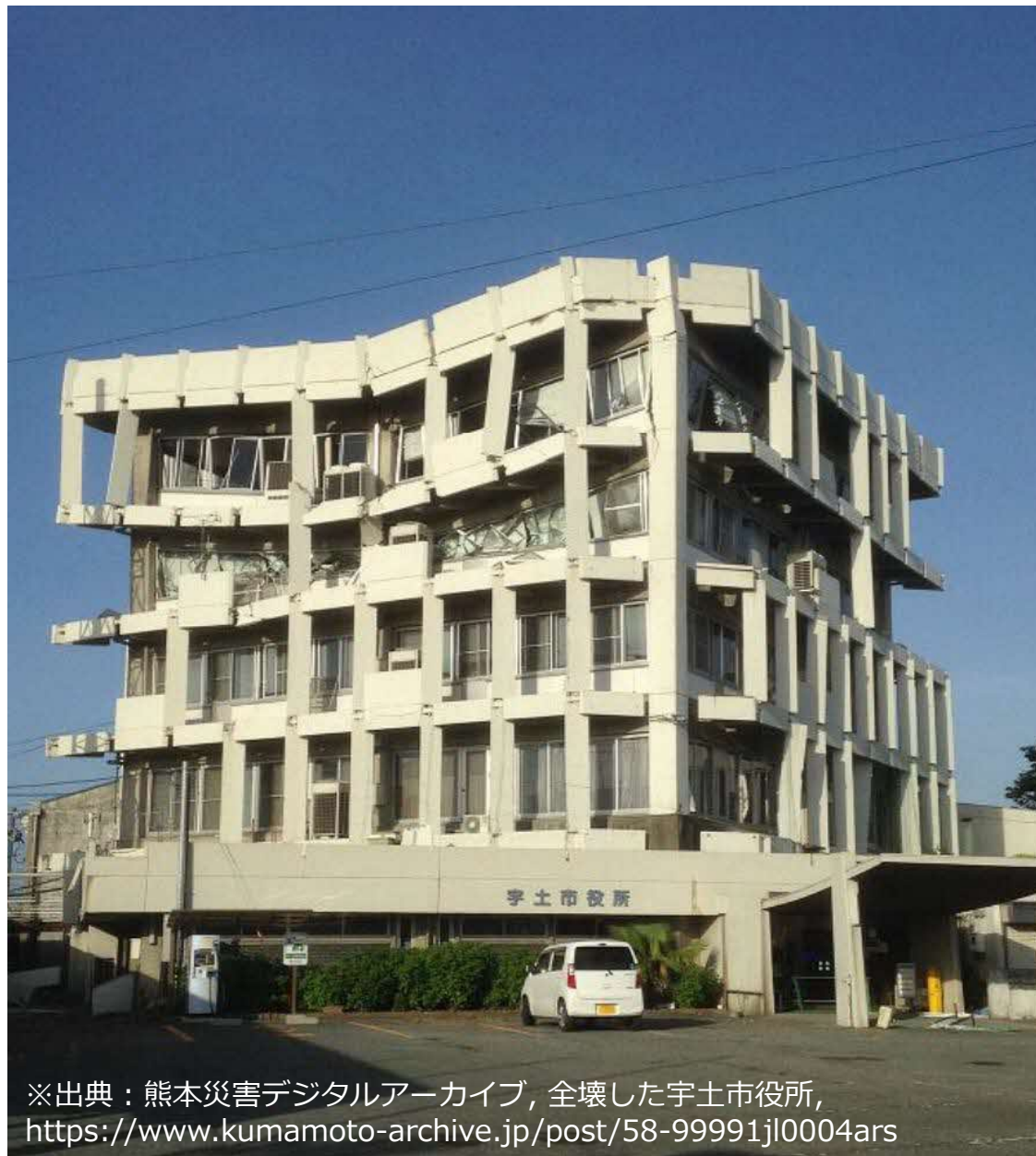


役場などの公共施設で拠点回収

アルミ缶・スチール缶・ビンを分別回収

平成28年熊本地震による庁舎被害

資料9



※出典：熊本災害デジタルアーカイブ, 全壊した宇土市役所,
<https://www.kumamoto-archive.jp/post/58-99991jl0004ars>

被害の概要	
施設	宇土市役所
	昭和40年5月竣工
耐震診断	平成15年実施 Is値： 0.20~0.45 3階が最も低い ⇒震度6強程度の地震では大きな被害を受ける可能性が高い。さらには、複雑な構造が故、耐震補強が困難であり改築を勧める。
地震被害	○4月14日(木) 21:26 震度5強(前震) ○4月16日(土) 1:25 震度6強(本震) ⇒ 本庁舎4階部分崩壊 →8月8日に駐車場に建設した仮庁舎で業務開始。
庁舎整備	令和5年5月8日 新庁舎開庁

岬町庁舎耐震診断結果

庁舎の課題

1. 耐震性能の不足

耐震性能が低く、庁舎の安全性に不安がある

①庁舎の構造耐震指標Is値は、0.6未満であり、地震に対して倒壊又は崩壊する危険性がある。

表1.役場庁舎の耐震診断結果（平成25年第2次耐震診断結果）

Is値（構造耐震指標）	B1	1F	2F	3F	4F
X方向（南北）	0.320	0.160	0.479	0.389	0.631
Y方向（東西）	0.375	0.290	0.152	0.536	0.741

※Is値は、地震力に対する建物の強度、靱性（じんせい：変形能力、粘り強さ）を考慮し算出する。

国土交通省「特定建築物の耐震診断及び耐震改修に関する指針」によるIs値の基準（震度6～7程度）	0.3未満	大規模な地震により倒壊し、又は崩壊する危険性が高い
	0.3以上0.6未満	大規模な地震により倒壊し、又は崩壊する危険性がある
	0.6以上	大規模な地震に対し倒壊し、又は崩壊する危険性が低い

岬町文化センター・岬町青少年センター耐震診断結果

○岬町文化センター(2階建て)

方向	階	判定基準 (Iso)	Is値	判定	判定基準 (CTU×SD)	CTU×SD
X(東西)	2	0.75	1.09	OK	0.3	1.25
	1		0.64	NG		0.91
Y(南北)	2		2.43	OK		2.76
	1		1.07	OK		1.22

○岬町青少年センター(4階建て)

方向	階	判定基準 (Iso)	Is値	判定	判定基準 (CTU×SD)	CTU×SD
X(東西)	4	0.75	0.23	NG	0.3	0.08
	3		0.23	NG		0.08
	2		0.37	NG		0.41
	1		0.42	NG		0.47
Y(南北)	4		0.098	NG		0.055
	3		0.098	NG		0.055
	2		0.90	OK		1.00
	1		0.42	NG		0.47

※引用：全員協議会資料(令和8年8月26日(水)),岬町文化センター・青少年センター 耐震診断結果報告書, P2～3